



# 大名町交差点周辺の 鳥害対策

2016.6.29  
道路建設課 谷口直子

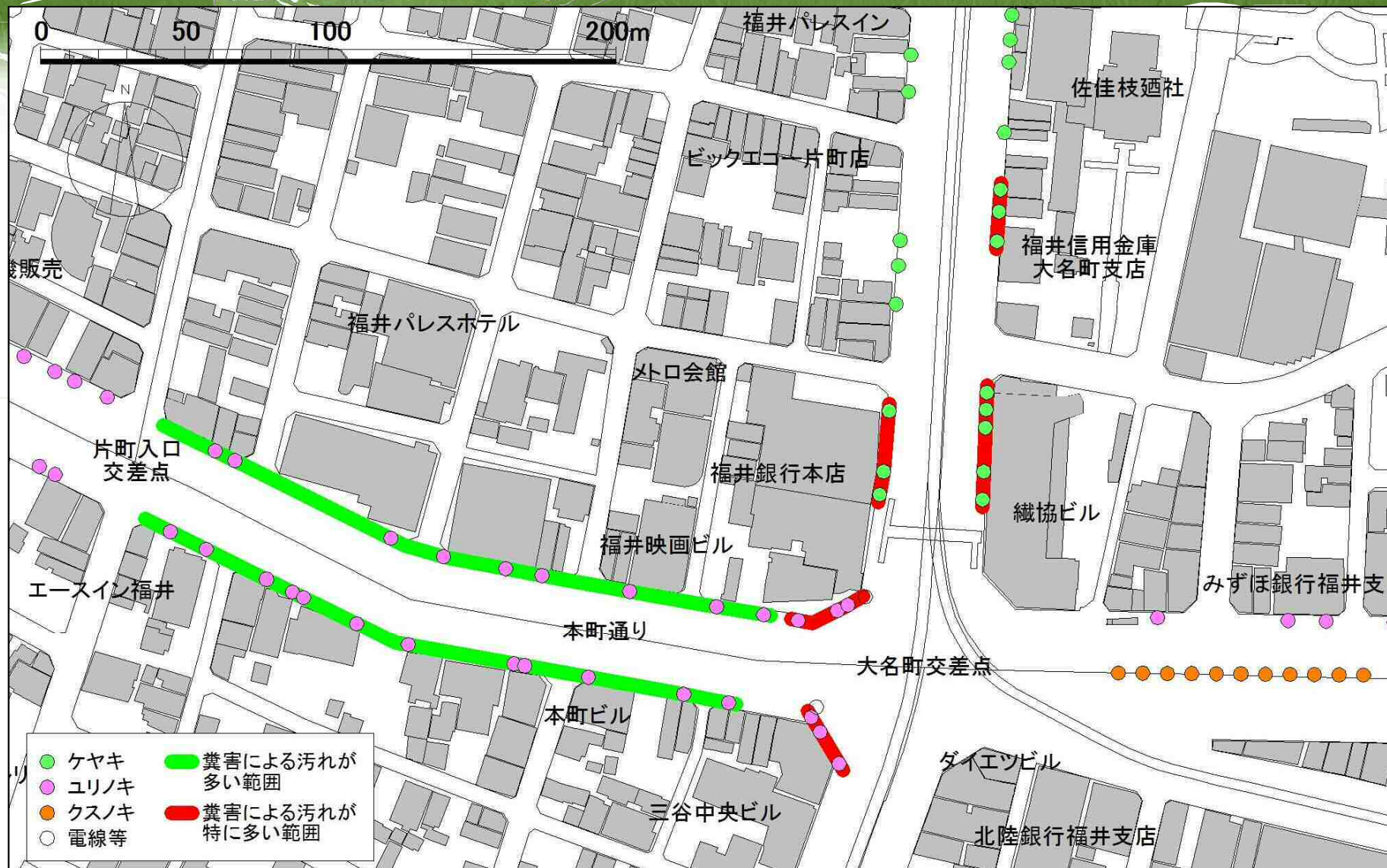
# 発表の内容

- 鳥害の現状（平成26年当時）
- 鳥害対策検討会の設置
- 対策の実施と効果
- 今後の対策
- まとめ



# (1) 鳥害の現状

# 被害状況



大名町交差点付近の糞害発生状況



# 鳥害の現状

□ 大名町交差点周辺に集まってくる主な鳥：  
ムクドリ、スズメ



- ・ 留鳥（一年中いる）（全長約24cm）
- ・ 開けた環境を好み、昆虫（害虫）や木の实などを食べる。
- ・ 基本的に群れで生活。特に秋のねぐらは大群になる。繁殖期は3月下旬～7月。
- ・ 寿命は7、8年程度と言われている



- ・ 留鳥（一年中いる）（全長約15cm）
- ・ 人家の近くを好み、草の種子などを食べ、繁殖期には昆虫を多くとる。
- ・ 繁殖期は3～8月
- ・ 寿命は数年程度と言われている。

# 鳥害の現状

- 平成21年ごろから被害が顕在化
  - ・「ムクドリの糞が臭くて汚い」
  - ・「掃除をしているが追い付かないので何とかしてほしい」
  - ・「鳥の声がうるさくて会話(仕事)ができない」
  - ・「店舗の中にまで羽根が飛んできている」
- 平成26年度に入って多くの苦情が寄せられる
  - 苦情件数    平成25年10～3月    約10件
  - 平成26年7～10月    約30件



# 被害状況





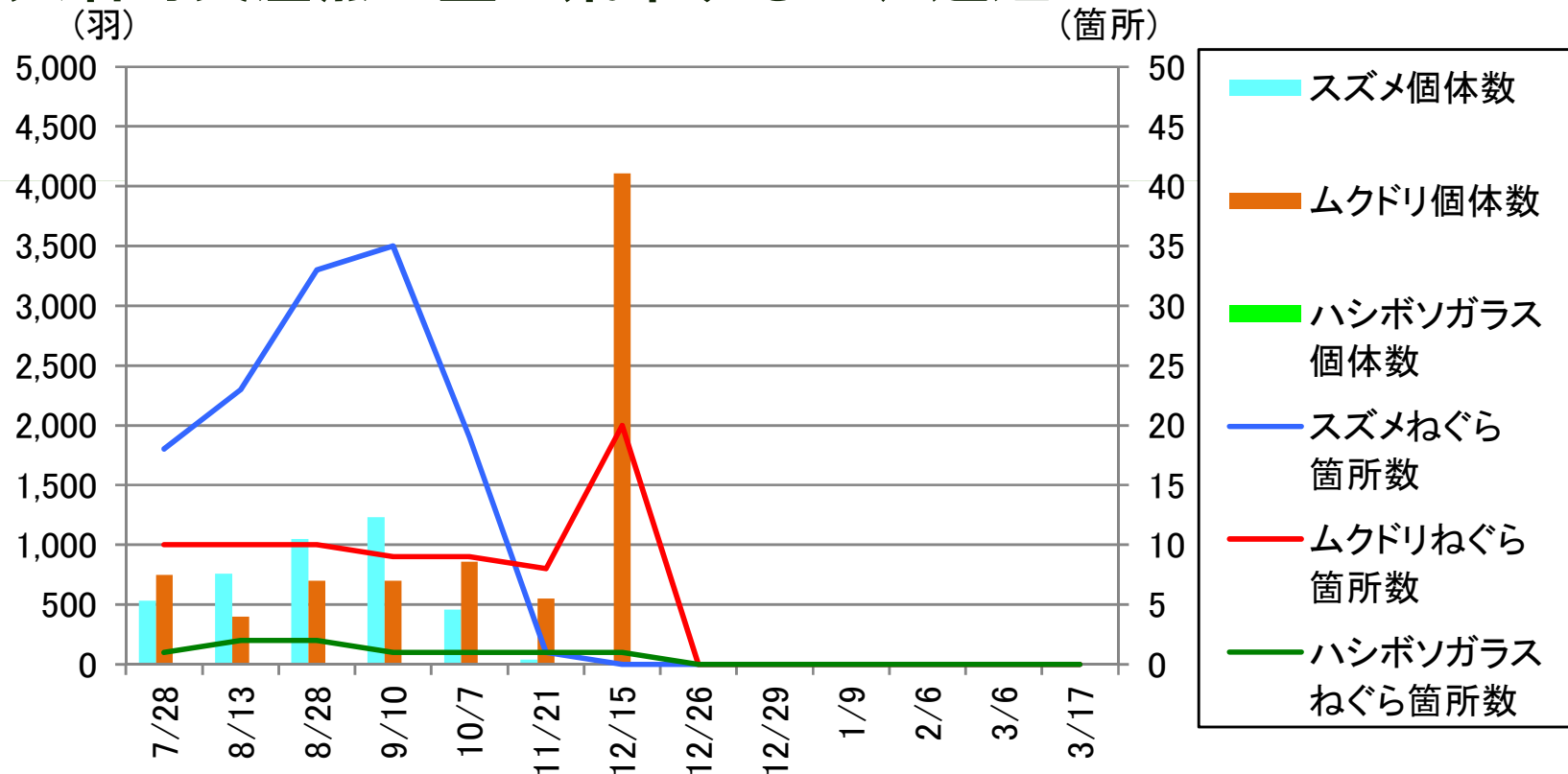
# 被害状況





# 生息状況調査結果

- 12月15日に最大個体数4,110羽を記録
- 12月26日以降、ねぐらは確認されず。ムクドリは日没前後に大名町交差点上空に飛来するが、通過のみ



種別個体数およびねぐら箇所数の推移

# これまでに実施した対策

□ 平成21年9月：磁気を用いた忌避器具による対策を実施。

⇒効果はほとんどなし。



バードキラーNeo 2本組でガラスやハトを撃退！

ごみ収集所のガラス、ベランダのハトのフン、困りますよね？鳥インフルエンザも不安。【バードキラーNeo】は磁気ので鳥を寄せ付けなくするアイテム。地磁気を乱すことによって、野鳥の方向感覚を失わせちゃうんです。ペットには無害なのでご安心を。

**強力磁気バリアで  
鳥の飛来を防げ！**

ガラスやハトを  
近寄らせるな！

200mlの強力磁気パワー

**Bird Killer Neo**

バードキラーNeo 特許取得「鳥類追い払い具」

**通販実績10万本以上！  
農園、市場、電力会社  
も採用するモンスターアイテム！**

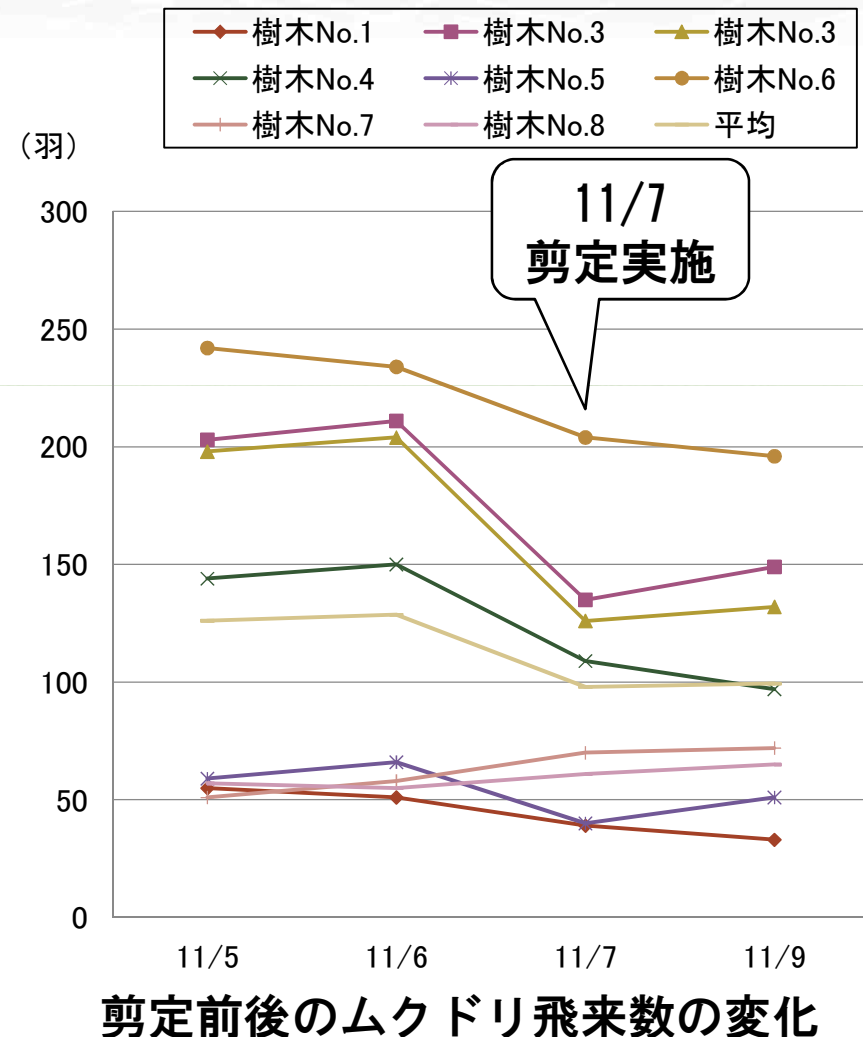
フンの多い場所には要注意！



# これまでに実施した対策

□ 平成21年11月：  
ケヤキの間引き剪定  
を実施。

⇒ 一時的に街路樹1本  
あたりのとまり個体  
数が平均190羽か  
ら100羽に減少。  
周囲に分散したとみ  
られる。



# これまでに実施した対策

- その後、ケヤキの樹形が変わらない程度の軽剪定を数回実施。



剪定実施前



実施後



## (2) 鳥害対策検討会の開催

# 鳥害対策検討会 (きっかけ)

◆福井新聞に取り上げられる  
(平成26年10月21日)

◆「県、市連携なし」  
「官民議論必要」



関係部局や地元を交えた  
対策検討会の設置

## 騒音、ふん被害に悲鳴

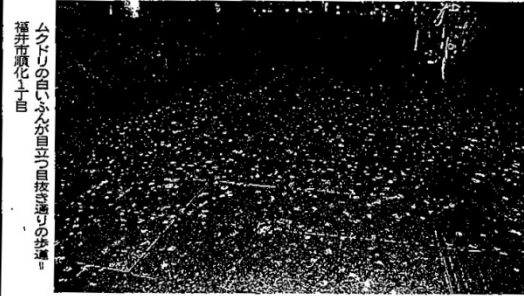
### ねぐらの街路樹 対策急務

県都中心にムクドリ大群

福井市中心部、大谷町交差点周辺のムクドリの大群は、騒音やふん被害を招いている。県、市、市連携で対策を講じる必要がある。福井市環境課は、市連携で対策を講じる必要がある。

### 管理の県、市連携なし

### 景観踏まえ官民議論必要



■福井市環境課によると、県都中心にムクドリの大群が、騒音やふん被害を招いている。県、市、市連携で対策を講じる必要がある。福井市環境課は、市連携で対策を講じる必要がある。

通りでは、スリッパを引いた鳥の姿が、騒音やふん被害を招いている。県、市、市連携で対策を講じる必要がある。福井市環境課は、市連携で対策を講じる必要がある。



■福井市環境課によると、県都中心にムクドリの大群が、騒音やふん被害を招いている。県、市、市連携で対策を講じる必要がある。福井市環境課は、市連携で対策を講じる必要がある。

ムクドリの大群は、騒音やふん被害を招いている。県、市、市連携で対策を講じる必要がある。福井市環境課は、市連携で対策を講じる必要がある。



# 鳥害対策検討会

＜検討会メンバー＞※メンバーは平成27年度時点

- 組頭五十夫氏（日本野鳥の会福井県副代表）
- 松村俊幸氏（県自然保護センター所長）
- 瀧波成嘉氏（福井大名町通り商店街代表）
- 海道映諄氏（福井中央商店街振興組合理事長）
- 橋野昌裕氏（(株)福井銀行経営管理チーム サブリーダー）
- 洞口弘之氏（(一社)福井県繊維協ビル同業会総務課長）
- 野坂雄二氏（県安全環境部企画幹）
- 竹澤克敏氏（福井市有害鳥獣対策室長）
- 佐野仁則氏（福井市公園課長）

# 鳥害対策検討会（ねらい）

## ＜目的＞

- 効果的な対策の検討と実施

## ＜ねらい＞

- 地元住民の鳥害に対する理解の促進  
⇒ 野鳥との共存共生
- マスコミ公開による検討会の開催  
⇒ 県外への発信で他県の事例・知見を集積  
⇒ 県を代表する並木道のPR  
⇒ 県民の街路樹に対する意識の醸成



# 鳥害対策検討会

## ＜開催状況＞

- ・ 第1回：平成26年12月19日（金）鳥害の現状報告
- ・ 第2回：平成27年3月20日（金）鳥害対策工の提案
- ・ 第3回：平成27年7月28日（火）対策の途中報告
- ・ 第4回：平成28年1月21日（木）実施効果と今後



第1回検討会



第4回検討会

# **(3) 鳥害対策工について**



# 鳥害対策工について

- ▣ 鳥害対策工について、効果や施工性、導入コスト等を検証し、導入可能性について検討

- 除去 : 剪定
- 遮断 : 防鳥ネット、テグス
- 音 : 街路樹を叩く、火薬による炸裂音、超音波、特殊波動
- 生物的 : タカによる追い払い、ムクドリの悲鳴などの再生、目玉風船
- 忌避剤 : 木酢液、忌避剤

# 1. とまりの障害：①街路樹の剪定

街路樹を剪定する。



**効果あり**  
**※景観上問題あり**

- ムクドリがとまる枝がなくなり集まらなくなった。
- 飛来数が減少した。
- 目隠しの役目を果たしていた枝葉がなくなったため、電線にとまるムクドリも減少し



【街路樹の剪定事例】

資料：「国道369号近鉄新大宮駅周辺のムクドリ対策について」  
(奈良県五條土木事務所、H24)



# 1. とまりの障害：②防鳥ネット

鳥が集まる主な街路樹の樹冠を防鳥ネットで覆う。



**効果あり**  
**※景観上問題あり**

- ネットをかけた街路樹にはムクドリがとまらなくなった。
- 飛来数が減少した。
- ネットをかけていない他の木にとまるようになった。



【防鳥ネットの設置事例】

写真(右下): 株式会社井手商会 (<http://www.ideshokai.com/>)

資料: 「我孫子市ムクドリ報告書」(我孫子市、H20)

## 2. 追い払い：①人力による音や振動

街路樹の幹や枝を叩いてムクドリを追い払う。



効果は低い



## 2. 追い払い：②火薬による炸裂音

スポーツ競技用のスターターを用いてムクドリが街路樹等に飛来する直前に音を出して追い払う。



効果は低い



【スターター】

写真：販促イベント屋 (<http://www.rakuten.co.jp/event-ya/>)  
資料：「我孫子市ムクドリ報告書」(前出)

## 2. 追い払い：③超音波

ムクドリが嫌がる超音波を発する装置を設置する。



### 効果あり

- 超音波を発生させている間はムクドリが飛び去った。
- 飛来数が減少した。
- 装置とムクドリの距離が離れていても効果があった。



【超音波発生装置】  
(アニマルリペラー)

写真：アニマルリペラー.com (<http://a.hm9.jp/>)

資料：「国道369号近鉄新大宮駅周辺のムクドリ対策について」(前出)



## 2. 追い払い：④特殊音波

ムクドリが嫌がる特殊な音波を発する装置を設置する。



**効果あり**

**※音の大きさに問題あり**

□ 音波を発生させている間は  
ムクドリが飛び去った。



**【特殊波動防除装置】  
(バードプロテクター)**

写真：株式会社エイカー (<http://acar.co.jp/wp-bird/>)

## 2. 追い払い：⑤タカによる追い払い

鷹匠の放つタカにより、ムクドリを追い払う。



**効果あり  
(数日間)**

- 追い払い実施後の数日間は、ムクドリの飛来数が減少した。
- タカによる追い払いが定期的に必要な可能性がある。



【大阪府堺市における実施事例】



## 2. 追い払い：⑥忌避音

ムクドリの警戒声や悲鳴（忌避音）を再生する。



**効果あり  
（発生中のみ）**

- 忌避音を再生している間は、ムクドリが飛び去った。
- 飛来数が減少した。
- 同様の対策を実施したが、効果のない自治体もあった。



【忌避音の再生状況】

資料：「国道369号近鉄新大宮駅周辺のムクドリ対策について」（前出）

## 2. 追い払い：⑦オナガによる忌避音

オナガの警戒声や遭難声を再生する。



**効果あり**  
**(長期的な効果は不明)**

- オナガの警戒声に反応して、ムクドリが飛び去った。
- オナガの生息個体数が少ない地域では効果が低い可能性がある。



【オナガ】

写真：日本野鳥の会 (<http://www.birdfan.net/>)

資料：「忌避音声と誘導因子の組み合わせによる鳥類の行動制御技術の開発」(独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構、H11)



## 2. 追い払い：⑧目玉風船

街路樹に目玉模様の風船を設置する。



効果は低い

□ 風船設置後の数日間のみ効果があった。



### 【目玉風船の設置事例】

写真(上): ガーデニング・家庭菜園・農業用資材販売の株式会社井手商会(前出)

資料: 「西葛西駅前広場のムクドリ対策について」(江戸川区、H25)

## 2. 追い払い：⑨木酢液

街路樹に忌避剤となる木酢液の入ったペットボトルを設置する。



**効果あり**  
**（長期的な効果は不明）**

- ムクドリが木酢液を設置していない別の街路樹でねぐらをとるようになった。
- 同様の対策を実施したが、効果のない自治体もあった。

### 3. その他（効果不明の対策）

- 電線にプラスチック製のトゲ状忌避具を装着し、ムクドリのとまりを防ぐ。

（資料：「国道369号近鉄新大宮駅周辺のムクドリ対策について」前出）

- 街路樹にハッカと唐辛子の成分を混ぜたジェル状の薬剤をしみこませた資材を設置する。

（資料：「教えて県民くん 消えた市街地のムクドリ」日刊県民福井、H26）

- ムクドリを捕獲・駆除する。

（資料：「鳥種別生態と防除の概要：ムクドリ」中央農業総合研究センター、H13）



**効果不明**



# 鳥害対策工の選定

- 樹木への影響、景観への配慮、コストや施工性などを考慮して選定
  - (1) テグスの設置
  - (2) 電飾の点灯
  - (3) タカによる追い払い
- 検討会の意見を踏まえ、集団ねぐらが形成される5月ごろから対策を開始



# 鳥害対策位置図

裁判所前交差点

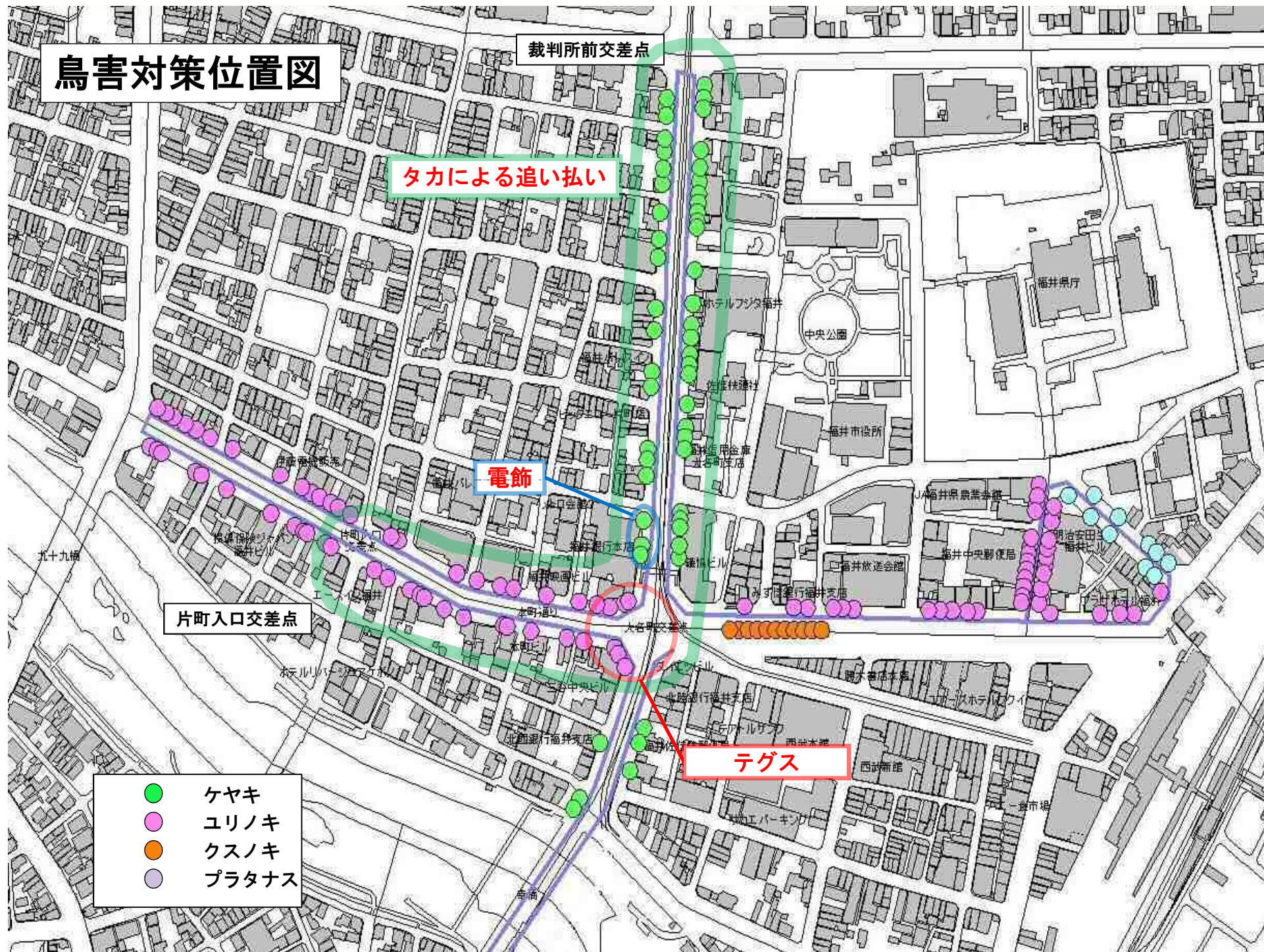
タカによる追い払い

電飾

片町入口交差点

テグス

- ケヤキ
- ユリノキ
- クスノキ
- プラタナス





# 1 テグスの設置（1月5日～）

◎木にとまりにくくし、集団ねぐらの形成を阻害

- 設置箇所：大名町交差点角のユリノキ6本
- 縦方向に50～60cmの間隔で釣り糸を設置
- 糸は透明のものを使用（景観への配慮）



テグス設置状況（27.1/5）



## 2 電飾の点灯（5月14～24日）

◎点滅する光の刺激により、集団ねぐらの形成を阻害

- 設置箇所：福井銀行東側のケヤキ3本
- 1本あたり約2,000個のLED電球を設置
- それぞれ赤・青・黄色とLEDの色を変えて、  
日没前の夕方から夜明けまでの間、点滅して点灯



電飾点灯状況（27.5/19）

### 3 タカによる追い払い（5月20日～）

◎鷹匠の放つタカにより、危険な場所だと認識させる

- 対象範囲：大名町交差点周辺一体
- 1回あたり約1時間（夕方から日没頃まで）
- 野鳥が飛来した街路樹に向けて放鷹
- 週に1回以上（野鳥の飛来状況により作業頻度を変更）



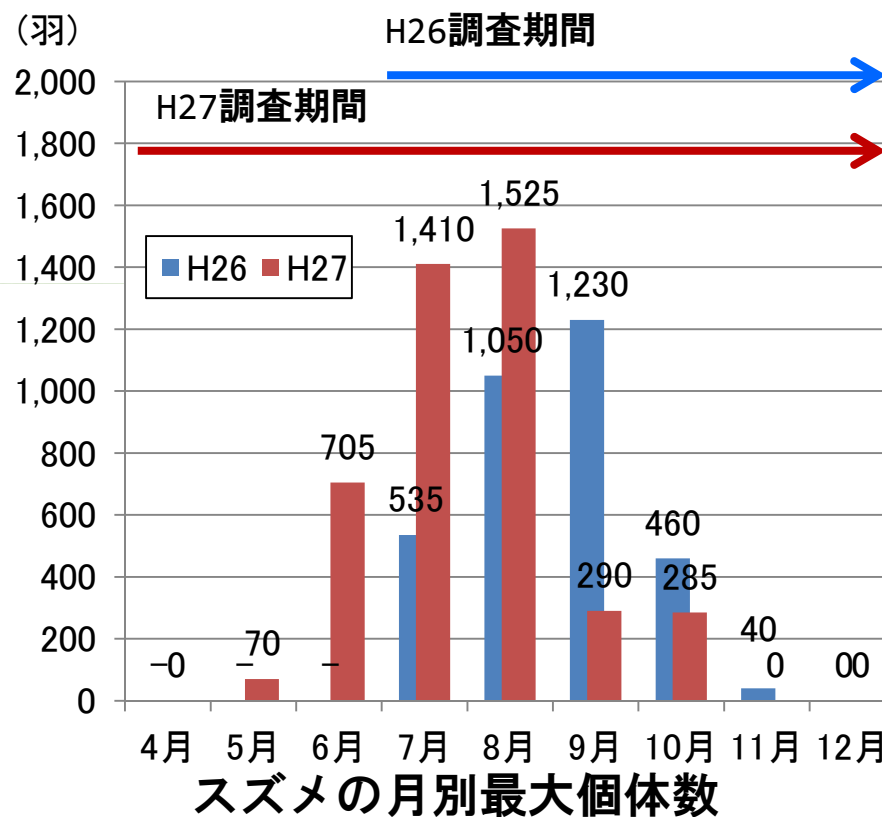
作業状況



ハリスホーク

# 集団ねぐらの形成状況（調査結果）

## スズメ 【前年度との比較】

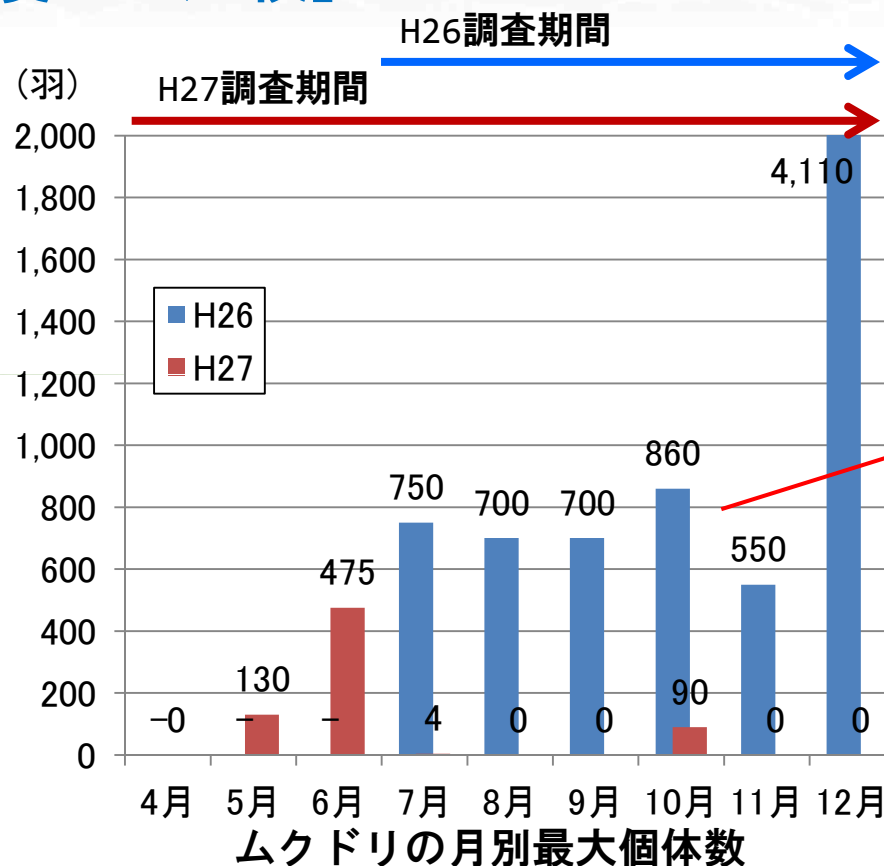


- スズメの個体数は、7、8月は平成26年より増加
- 9～11月は平成26年より減少



# 集団ねぐらの形成状況（調査結果）

## ムクドリ【前年度との比較】



□ 平成26年と比較して個体数は大きく減少

➡タカによる追い払いはムクドリ対策として効果あり

# 鳥害対策工の実施効果について

## ■鳥害対策工の実施効果まとめ

| 工種         | 鳥害対策の効果                           |                      |
|------------|-----------------------------------|----------------------|
|            | ムクドリ                              | スズメ                  |
| ①テグスの設置    | ◆ 効果不明                            | ◆ 効果なし               |
| ②電飾の点灯     | ◆ 効果不明<br>(効果があった場合でも効果範囲は設置箇所のみ) | ◆ 効果不明               |
| ③タカによる追い払い | ◆ 効果あり                            | ◆ 街路樹の剪定と組み合わせると効果あり |

# 集団ねぐらの移動先

➤大名町交差点を中心に半径700mの範囲で街路樹や電線等でムクドリやスズメのねぐらの有無を調査

⇒ 集団ねぐらは確認されなかった。

➤野鳥の会の方からは「福井市大和田地区に移ったのでは」との意見

⇒ 因果関係は不明



## (4) 今後の対策

# 今後の対策

平成28年度

- ムクドリ等の飛来状況のモニタリングのため「**個体数調査**」を月2回程度を基本として実施
- 「**タカによる追い払い**」を実施（5月18日から開始）
- 「**タカによる追い払い**」・「**個体数調査**」は飛来状況を考慮して回数を増減する
- タカによる追い払いの効果を高めるため、必要に応じて「**街路樹（ユリノキ）の剪定**」を実施
- 糞による汚損状況に応じて「**路面の清掃**」を実施



# (5) まとめ



# まとめ

## 鳥害対策を通じて

- 鳥害パンフの配布、HPでの広報  
⇒地元の鳥害への理解の促進

- 地元「街路樹は必要」との声  
⇒街路樹に対する意識の醸成

**大名町交差点周辺の鳥害について**

監修：大名町交差点周辺における鳥害対策検討会（事務局：福岡県道建設課・福岡土木事務所）

県都福岡の玄関口であり、多くの人が行き交う福岡市大名町交差点周辺には、大きく育ったケヤキなどの街路樹があります。この街路樹には夕方になるとたくさんの鳥が集まっており、騒音による騒音や糞による汚れや臭いが問題となっています。このよう鳥害について、平成26年12月に鳥の専門家や地元の力を交えた「鳥害対策検討会」を設置し、調査や対策を進めてきました。

今回、試行的に始めた対策や個体数調査を通して分かってきたこととまとめましたので、お知らせします。

**大名町交差点上空を飛翔するムクドリの大群**

**糞で汚れた歩道**

**■ムクドリとスズメについて**  
大名町交差点周辺の街路樹に集まっている鳥は、主にムクドリとスズメです。

| ムクドリ                                                                                                                                                                                | スズメ                                                                                                                                                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                  |                                                                   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・留鳥（一年中いる）、全長約24cm</li><li>・開けた環境を好み、昆虫や木の葉などを食べる</li><li>・基本的に群れで生活する。特に秋のねぐらは大群になる。</li><li>・繁殖期は3月下旬～7月</li><li>・寿命は7、8年程度とされている</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・留鳥（一年中いる）、全長約15cm</li><li>・人家の近くを好み、草の種子などを食べ、繁殖期には昆虫を多くとる</li><li>・繁殖期は3～8月</li><li>・寿命は数年程度とされている</li></ul> |

【分かったこと①】ムクドリ、スズメとも専ら夏に繁殖し、条件が良ければ複数回産卵するため、毎年たくさんの子どもが生まれます。

【分かったこと②】ムクドリやスズメは街路樹や草の野原につく虫をたくさん食べて退治してくれます。もしムクドリやスズメがいなくなったら、害虫だらけになってしまいます。また木の葉や草の種を食べて遠くに運び、新しい場所へ種を落としてくれます。

## <鳥害パンフ>

- 他県からの問合せ多数、新聞・TV取材も  
⇒事例収集、効果的な対策の模索

# 今後に向けて

- 鳥害対策の効果は持続しない。継続が重要
- 全国的な問題  
⇒他の様々な事例にも注視が必要
- 追い払い先にも注意（管理者同士の連携）





ご清聴ありがとうございます

